

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年5月28日第126号—

<目次>

●「高齢者向け優良賃貸住宅」は、高齢者の住まいを守る

■多摩区で第15回「学生0円スーパー」開催 いまだ改善されない学生の苦難

▲お知らせコーナー

- ① 5/31 川崎市議会開会・第2回市民要求実現アクション
- ② 6/7・8 等々力緑地再編整備・運営等事業・オープンハウス型説明会
- ③ 6/8◎ 講演会 子どもの権利・保育現場の実態・保護者の願いをみんなで考えましょう
- ④ 6/9 平和をきずく市民のつどい
- ⑤ 6/23 学校給食費無償化を実現する会結成のつどい
- ⑥ 6/23 平和へのバトン～平和を願い、実現するための集い～
- ⑦ 6/28～7/3 戦争の加害展
- ⑧ 6/29 ゆめシネマ「マリウポリの20日間」

★編集後記

● 「高齢者向け優良賃貸住宅」は、高齢者の住まいを守る

「高齢者向け優良賃貸住宅(略称:高優賃)」は、「高齢者住まい法」で作られたもので、低所得者むけの家賃補助があり、国と市が半分ずつ出しています。

法律では建設後20年間で補助を打ち切るとしていますが、国は「自治体が継続するならさらに20年補助を出す」としています。

しかし川崎市の福田市長は、「公平性」を理由に、市の家賃補助を打ち切ります。

昨年1か所補助が打ち切られ、あと市内には7か所ある高優賃のうち、多摩区の「ビスターリ宮の下」は今年8月で20年目を迎えます。

家賃補助がなくなれば生きていくことができない住民は、2024年3月に運動団体をつくりました。

今号では、団体アピールを紹介し、市民のみなさんに支援をよびかけます。カンパもお願いしています。

ビスターリ宮の下からのアピール 2024年3月24日

ビスターリ宮の下住民と応援する会

市民の皆さん。私たちは川崎市多摩区菅北浦にある「ビスターリ宮の下」というマンションに住んでいる住民とその仲間たちです。

ここは高齢者向け優良賃貸住宅という建物で、建設に国の補助もあり、家賃も国と市が半分ずつ補助を出しており、収入に応じて3万円程度が補助されています。

なので年金の低い私たちでも入居できました。

もともと「高齢者住まい法」によって「不動産屋に行っても、年齢を言うだけで断られる」という高齢者の住まいを安定して提供するという、国の責任を果たすために作られた住宅です。

ところが法律では「建設して20年で家賃補助を終了する」となっているため、ビスターリ宮の下では、今年8月で家賃補助が終了してしまいます。

国会や市議会でも取り上げられ、国は「自治体が決めれば家賃補助は20年間延長はできる」といいます。

川崎市は「延長はしない」というばかりで、私たちは、あと数か月で一般住宅の家賃になるか、それが払えなければ引っ越しを迫られているという状況です。

住んでいるのは圧倒的に70代、80代です。

住み始めた時には確かに補助がなくなる日が来ることはわかっていましたが、こんなに年金が下がり、物価が上がるなんて思いもよりませんでした。

「寝たきりの妻を抱えてアパートの立ち退きにあい、不動産屋から見放され、自分の年金ではここに入るしかなかった。

もうどこにも行くところはない」という人もいます。

入退院を繰り返している人は引っ越しもできず「死ねといわれているようだ」と涙をこぼします。

高齢者が安心して住める住宅を作ったはずなのに、そこから追い出されるようなことが起きていいのでしょうか。

住まいを探すことに困難がある高齢者がこんなに不安になるのは、個人の責任でしょうか。

私たちは国や川崎市がちゃんと市民の住まいを守ってほしいと思い、この会を作りました。

当面、川崎市への交渉など、いろんな活動を予定しています。お知らせもしていきますので、どうぞ、応援してください。

■多摩区で第15回「学生0円スーパー」開催 いまだ改善されない学生の苦難

<予約を上回る66名が利用>

5月12日(日)、川崎市多摩区の東生田会館を会場に、15回目となる「学生0円スーパー」が開催されました。

この取り組みは、コロナ禍の2019年に、川崎北部民主青年同盟を中心とする学生0円スーパー実行委員会が立ち上げた学生食料支援です。

当時は、最寄り大学である専修大学でも複数の学生寮でクラスターが発生、アルバイトがなくなり生活困窮する学生へ、食料品や日用品を配布して少しでもサポートしようという意図で始まりました。

しかし、パンデミックは去っても、昨今の異常な物価高騰が学生生活を直撃しており、取り組みはいまだ継続中です。

今回も予約者40名をはるかに超える66名の利用がありました。

<学生の困窮度は悪化している!?!>

学生0円スーパーでは利用者に毎回、アンケートへの回答を呼びかけてきましたが、今回は66名中64名、つまり回答率97%という高さで、学費無償化の署名も前回比3倍以上の28筆が集まりました。

民青同盟員によるアンケート対話でも、じっくり話し込んでいる学生の姿が多く見られ、切実感が増している印象を受けました。

アンケートでは、奨学金、保護者からの仕送り金額、アルバイトの実態などについて継続的に質問しているのですが、これらの回答結果からも、困窮度が増していることが推察できます。

なかでもスタッフが驚愕したのが、食費。1月あたりの食費はいくらか尋ねると、最多回答が2万円(22名)、次点は3万円(18名)でしたが、1万円と回答した学生が8名もいたことです。

<1か月1万円となると、>

1日330円程度でしのいでいることになります。

0円スーパー開催初期のころ、「食費を1食300円に抑えています」というコメントに驚いたものです。

現在はその3分の1程度の方が少なからずいる。深刻な状況だと思います。

自炊で節約しようという意識が高まってきたためか、配布の自炊レシピも喜ばれてきました。

<仲間とつながれない悩みも>

この2回、学生0円スーパーでは、ジェンダーに関する相談コーナーの設置にもトライしてきました。

生理や女性特有の病気の悩みなどの相談もありましたが、そのなかで、仲間づくりの困難さも聞かれました。

高い学費を払ってくれる親に対して、あるいは奨学金をもらっている立場から、単位はひとつも落とせない。

バイトもしなくては生活が成り立たない。サークルに入る余裕はない。ということで、、どこにいても孤独感を感じるという悩み。

学生が充実したキャンパスライフを送れるための環境整備は、やはり政治が整えるべきだと実感しています。

(赤石博子通信員)

★お知らせコーナー

①川崎市議会開会・第2回市民要求実現アクション

5/31(金) 12時~13時

市役所前広場

連絡先 いのちと暮らしを守る川崎市民連絡会

市古 090-7830-8030

②等々力緑地再編整備・運営等事業・オープンハウス型説明会

6/7(金) 15:00 ~20:00

6/8(土)10:00~15:00

Uvance とどろきスタジアム byFujitsu

[詳しくはこちら](#)

③講演会 子どもの権利・保育現場の実態・保護者の願いをみんなで考えようー

講師 中西新太郎氏 横浜市立大学名誉教授

6/8(土)14時～15時

@:川崎市総合自治会館コスギサードアベニュー 4F会議室

参加費 500円

主催:川崎のよりよい保育・子育てを考える会

[詳しくはこちら](#)

④平和をきづく市民のつどい

記念講演:羽場久美子氏(13時半より)

「アジア諸国と協力して日本の未来を」

6/9(日)10時～15時

@川崎市平和館

入場無料

[詳しくはこちら](#)

⑤学校給食費無償化を実現する会結成のつどい

6月23日(日)10時～

@産業振興会館研修室

連絡先 市古(090-7830-8030)

⑥平和へのバトン～平和を願い、実現するための集い～

6/23(日) 13時30分～16時30分

@かわさきゆめホール

主催:平和を願う会

問い合わせ

萩坂心一 044-935-0313

hagisaka@dab.hi-ho.ne.jp

[詳しくはこちら](#)

⑦戦争の加害展

6月28日～7月3日

@麻生図書館内麻生市民ギャラリー

連絡先 若槻(080-8725-8360)

[詳しくはこちら](#)

⑧ゆめシネマ「マリウポリの 20 日間」

6/29(土)①9時 ②12時 ③15時 ④18時

@かわさきゆめホール

一般:1,000円 障がい者:500円 学生以下:200円

[詳細情報](#)

★編集後記

春の生田緑地バラ苑の公開が5月25日で終わるといので、前日の24日(土)に、巨大物流倉庫を考える住民の会員3名と、出かけてきました。

生田緑地の緑とバラの香りを楽しみたい！同時に、川崎市が市民ミュージアムの候補地になっているバラ苑の隣接地を見てくるのが目的でした。

バラ園入口からは、かなり傾斜のある舗装道路を上り、次に、100段近い木の階段を登ってやっとバラ苑に到着。

ひと汗かきました。でも、直射日光は雲がさえぎってくれたので、のんびりと色とりどりに咲き誇る春のバラを楽しみました。

「芳醇」と名札がついた大輪の花に顔を近づけると、名前の通り、甘くて芳しい香りが飛び込んできます。

周囲はぐるりと森が囲み、上を見上げれば、空だけが広がります。

通り抜ける風がさわやかです。川崎に残されたこの豊かな緑を守らなくては！

さて、このバラ苑の隣、少し下ると、臨時駐車場になっていました。

ここが、市民ミュージアムの候補地です。建物を建てる広さは、確かにあります。

しかし、ここまで、どうやって来る？あの坂道を登ってくるのは大変です。

そこで、川崎市は土地所有者の小田急と覚書を交わし、新たな通行ルートの調査を進めています。隣接地までの車1台通れる細道を拡張し、ミュージアム横に駐車場を作ることを検討しているようです。

バラ苑開園中は、臨時駐車場からシャトルバスが出るといので、私たちも乗ってみました。

出発しバラ苑の横を過ぎると、かなりの傾斜の細道を大きくカーブして下っていきました。

この道を2倍以上に拡幅するには、山側の樹木と山肌をかなり削ることになるでしょう。

あの傾斜とカーブを安全に運転するには、かなりの道幅が必要になると思います。

貴重な生田の森の破壊工事になり、完成後は年間を通して車の排気ガスが、あの豊かな森を侵食する…

そんな心配が次々と浮かんで、せつかくバラの香りに癒された気分がすかり、台無しになりました。

やはり、広大な三菱ふそう跡地に、巨大物流倉庫はやめさせて、市民ミュージアムと緑豊かな憩いの場を造らせた！(H)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/6gigAbfiPzhh?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp